

# 太陽機械がデジタル進出

## UVIJ印字装置を発売

(株)太陽機械製作所(東京都大田区大森西、粟井博社長)はこのほど、シール・ラベル、フォーム印刷業界に向けた「UVインクジェット印字装置」の販売を発表。凸版ラベル印刷機メーカーから初となるデジタル印刷機のラインアップ拡充に注目が集まる。

同機はマイクロピエソ方式の印字ヘッドを備え、タック紙、合成紙、PETなどのメディアに対して連

番、バーコード、QRコード、宛名などの可変情報印刷を行う。印字幅は108ミ(1ヘッド)で、最大5ヘッドまで搭載可能。インライン、オフラインいずれにも対応する。

制御ソフトに独自のオフライン技術を採用して、ステッチングラインの発生を抑えたシームレスな印刷を行う。

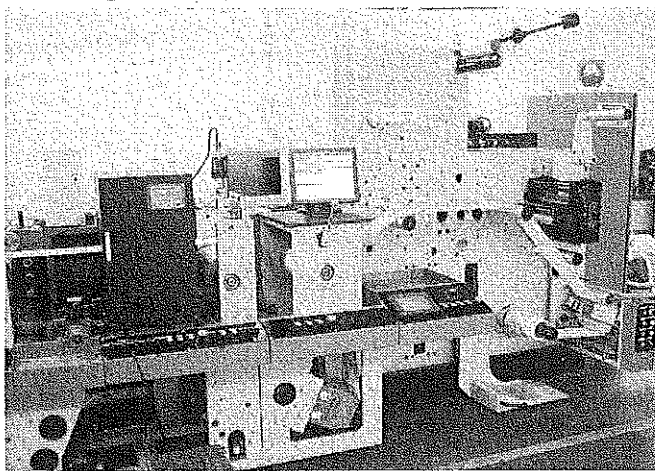
解像度は最大600dpi、印字速度は600dpi

いで毎分50枚、300dpiで100枚を誇り、回転機の標準的な印刷スピードをカバー。既設機のラインに組み込んで可変情報の追いつ刷り印刷ができる。操作はタッチパネル制御で、印字中でもモニター上で印字位置の左右天地調整が可能。これに国内製の検査装置が付属する。

太陽機械製作所では、3月中旬から内覧会を実施。すでに数10社が足を運ぶなど話題を集めている。なお同社は、10月6日(火)から東京ビックサイトで開催され

る「JGAS2009」(印刷機材団体協議会主催)で同機を出品する予定だ。

今回の発売に際して担当者は「可変情報印刷に寄せられる当社ユーザーの声や、印刷機のデジタル化といった業界の動向などを総合的に判断して、われわれは新たにデジタル印刷分野の開拓を決断した。今回、既設機へのインライン設置以外に、搬送機のOEMも手掛ける当社がスタンドアロンタイプのオフライン印字装置も開発した。当機を通じて、今後は既納機への提案



搬送機と組み合わせたスタンドアロン型にも対応

と新規ユーザー双方のデジタル印刷のニーズに応え、新規ビジネスをサポートしていきたい」と述べている。問い合わせや内覧希望は同社営業部(☎03・3764・6127)まで。